



# 第22回東海北陸作業療法学会

## 兼第26回岐阜県作業療法学会

# みどころ

学会長 加藤清人

会期：2023年12月9日（土）・10日（日）

会場：長良川国際会議場（対面形式）

主催：一社）岐阜県作業療法士会

テーマ：近未来に向けた作業療法の実現可能性を考える

### 事前申込中

2023年10月16日（月）～2023年11月21日（火）

学会開催が近づいてまいりました。運営委員一同、多くの議論を重ね、学会プログラムを作り上げました。われわれの想いがたくさん詰まっております。そこで、会員の皆さんにお勧めや見どころを紹介いたします。

**あなたの作業療法の実践に磨きをかける機会です。作業療法にいま求められていること・できることを一緒に再考しましょう。**

対面形式の学会を久しぶりに開催することができました。

本学会では、各種講演や講座、演題発表、機器展示など幅広く用意しております。

詳細は、学会HPをご覧ください。

学会当日は、恩師や先輩、後輩、友人など多くの方と交流しながら作業療法を語り合いたしましょう。

ご参加お待ちしております。

## 特別講演

摂食・嚥下リハビリテーションにおける多職種協働のための知と実践

～食支援における作業療法士の重要性～

講師：國枝頭二郎 氏（岐阜大学医学部附属病院、浜松リハビリテーション病院）

時間：12月9日（土）15:00～16:30（メインホール）

わたしたち人間にとって「食べること」は、あらゆる活動の原動力になります。食支援に携わる医療従事者は多くいますが、特に食べ物を食器から口まで運ぶ際の姿勢や動作においては作業療法士の介入が重要です。岐阜県多“食”種連携研究会をご存知の方もいらっしゃると思いますが、食支援では職種間の連携が必要不可欠であり、OTの関与が重要かつ他職種からも大変期待されています。一方で、皆さんの臨床はいかがですか？積極的に介入できています、他職種が関与しているからOTの介入まで至らないなど様々でしょう。いままさに期待されています。それに応えたい！

そこで、摂食・嚥下障害の分野で豊富な実績をお持ちの國枝先生にご講演いただき、医師から作業療法士にむけてメッセージを発信していただきます。明日からの食支援につなげてみてはいかがでしょうか。

## 教育セミナー

教育セミナーでは、5講演を開催いたします。“人は作業をすることで元気になれる”作業療法士が大切にしている部分であり、その効果を検証し続けていることが望まれます。

①自動車運転支援における作業療法士の役割

講師：鍵野将平 氏（森ノ宮医療大学）

時間：12月9日（土）10:30～11:30（国際会議室）

②あなたの作業療法に作業を重ね合わせる時

～作業科学のヒントに「なぜ作業なのか」から考える

講師：港美雪 氏（岐阜保健大学）

時間：12月9日（土）10:30～11:30（大会議室）

障害者や高齢者の生活は、日常生活などの身の回りの動作が滞りなくできるだけでなく、「生きがい」や「社会参加」などその人にとっての「作業」を日々取り組むことで生活に幸福感や満足感が得られます。

社会参加といっても、仕事や趣味など様々です。その目的とする作業を実施するうえで自動車運転を希望する対象者も少なくありません。特に都市部とは異なり農村部ではそのニーズが多いかと存じます。そうしたニーズに作業療法士としてどのように介入していくか、悩む作業療法士もいることでしょう。鍵野先生の講演では、脳損傷者を対象とした自動車運転支援や地域在住高齢者への自動車運転支援についてお話しいたします。

また、港先生には作業療法の中核である「作業」について作業科学の観点からお話しいたします。作業科学がどのように作業療法に作業を重ね合わせる際のヒントになるのかについて話題を提供していただけます。

皆さん、作業をどのように捉えていますか？新人さんからベテランの作業療法士にとって、いま一度ご自身の作業について再考する良い機会にさせていただきたいです。

③OTのキャリアデザインを考える

講師：村山幸照 氏（慈恵会 本部 経営戦略部）

時間：12月9日（土）13:30～14:30（メインホール）

会員の皆さんのなかにも施設経営に関わる方、今後興味がある方などいることでしょう。そうした方に対して、OTとして病院経営職に携わっている村山先生にご講演いただきます。今年度は作業療法ジャーナルでの連載もされています。先生のお話を踏まえてOTの未来を考えるきっかけとしていただきたいと思います。

④明日からできるハンドセラピー

講師：佐浦崇文 氏（中日病院）

富田晃弘 氏（岐阜県総合医療センター）

野原麻里江 氏（大垣徳洲会病院）

西村勇輝 氏（名古屋掖済会病院）

時間：12月9日（土）16:50～17:50（メインホール）

⑤明日から使える高次脳機能障害への介入

講師：河村章史 氏（星城大学）

時間：12月10日（日）14:00～15:00（大会議室）

明日からできるシリーズとして、特に新人ならびに若い会員向けに2講演していただきます。

各先生方よりハンドセラピーで用いている独自の治療器具の紹介と対象者への使用経験を発表していただきます。会員の皆さんのなかでも症例はそれほど多くないものの、介入していることもあるかもしれません。専門医や器材の不足で悩むこともあることでしょう。より身近なものが実践につながる、そしてより多くの施設でハンドセラピーが実践されることを期待したいところです。

また、高次脳機能障害を抱える対象者への介入に悩む会員も多いでしょう。先行研究をみてもなかなか具体的な実践には至らないことも少なくないでしょう。河村先生のご講演を通して、明日からどのように取り組めばよいか、皆さんのきっかけにさせていただきたいです。

# シンポジウム

地域共生社会に向けて

シンポジスト：藤田聖純氏（株式会社リハス）  
服部努氏（株式会社JAぎふはっぴいまるけ）  
永井憲二氏（就労支援Beech）

時間：12月10日（日）9:30～11:30（メインホール）

地域共生社会の実現に向けて障害者の就労支援は重要な位置づけであります。そこへの作業療法はどのような役割が期待されているのでしょうか。既に会員の皆さんのなかにも携わっている方やこれから関わろうとされている方もいるかもしれません。そこで、3名の先生方にご登壇いただき、作業療法の実践についてご紹介いただきます。

社会参加のひとつである“就労”について活発な議論をしていただき、皆さんの“障害者雇用”、“作業療法ができること”の認識・理解を深めてもらいたいです。

# 技術講座

## ①作業療法におけるルックスケア実践～化粧と社会参加～

講師：石橋仁美氏（東京工科大学）  
時間：12月9日（土）15:30～16:30（大会議室）

A DL支援の一つに、整容が含まれておりルックスへの介入は、外出行動ならびに社会参加していくうえで重要と言えます。なかでも、“化粧をしたい”と思う対象者も少なくないでしょう。そこで、石橋先生より化粧と作業療法の実践についてお話していただけます。

## ②ロボットの未来

講師：横山考弘氏（株式会社フイ・アール・テクノセンター）  
時間：12月9日（土）16:50～17:50（大会議室）

## ③産業作業療法の実践

講師：元廣惇氏（株式会社Canvas）  
時間：12月10日（日）12:30～13:30（大会議室）

企業など従業員の健康増進への取り組みは、安定した施設経営を進めていく上で重要な点であります。そこで、元廣先生には職業病に対し作業療法の専門性を活かした経営支援コンサルティングの実績を基にお話ししていただけます。最近では、施設の管理運営に携わっている会員も増えてきているでしょう。ご自身の施設経営を見直す機会にははいかがでしょうか。

## ④OTの未来を考える ～共生社会構築に資する作業療法士の喫緊の課題～

講師：大庭潤平氏（日本作業療法士協会副会長）  
時間：12月10日（日）14:00～15:00（メインホール）

ロボット技術の進歩は目まぐるしく、ひとの生活を豊かにしていく可能性を秘めています。近年、AIの進化によりロボットはより人間に近い感情を持ち合わせるようになったことで、コミュニケーションもとることができます。医療・介護分野においては、個別の介助サービスが可能となってきました。昨今、医療・介護分野では少子高齢化に伴いサービス低下が懸念されているため、ロボットの未来は人間との共存を築く必要があります。ロボット技術の進化と未来について触れてみてはいかがでしょうか。

日本作業療法士協会副会長の大庭先生にご登壇いただき、協会の立場から作業療法の喫緊の課題とこれからの作業療法に対する期待についてお話いただけます。会員の皆さんにおいては、直接協会理事の方のお話を聴く機会はそれほど多くはないかもしれませんが、大庭先生により、OTの未来について熱いメッセージを発信していただき、わたしたちの今後の取り組みに活かしていきましょう。

# 催事

## ①企業展示

場所：市民ギャラリー  
日時：12月9日（土）、12月10日（日） 終日  
協力企業：酒井医療株式会社様、イツキ株式会社様、インターリハ株式会社様、伊藤超短波株式会社様（お申込み順）

## ②障害者スポーツ体験会

場所：コーヒーラウンジ、2階メインホール入口前  
日時：12月10日（日） 終日  
協力：岐阜県障害者スポーツ協会様、株式会社今仙技術研究所様、平成医療短期大学様

## ③大学院説明ブース

場所：市民ギャラリー内 特設ブース  
日時：12月9日（土）、12月10日（日） 終日  
出展：星城大学大学院

## ④作業療法職業体験ブース（一般向け）

場所：市民ギャラリー  
日時：12月10日（日） 終日



企業展示では、日々の臨床に馴染みのある企業様が出展していただけます。新しい機器や気になっていた機器が展示されているかもしれません。この機会にぜひ足を運んでみてください。

障害者スポーツの経験はありますか？今回はポッチャ体験、車いすバスケのシュート体験、義足装着体験ができます。患者様の可能性を探る作業療法士だからこそ率先して経験すべき！

EBMが求められる昨今は研究的視点が臨床において重要です。意味のある評価、意味のある結果とは？それを学べるのは大学院です。学費や就業中の進学について相談してみましよう。

# 演題

口述発表：58演題  
ポスター発表：35演題

日頃の研究成果をご自身の臨床の参考にしてみてはいかがでしょうか。

# 市民公開講座

笑のある福祉とその実践  
講師：石田竜生氏（介護エンターテイナー）  
時間：12月10日（日）12:00～13:30（メインホール）

市民向けの講座となっています。皆さんはもちろん、お知り合いの方々にも周知していただきたいです（主に看・介護職員など）。